平成30年7月西日本豪雨 復興支援事業

まびっ子えがおプロジェクト

活動報告　vol.1

2018.8.1発行

【2018.7.17～31】

自学道場

Super considering School "JIGAKU-DOJO"　Since 2015

安永教育学院

記憶にも記録にもない、集中豪雨

７月７日、岡山県を襲った集中豪雨により、報道等でもご存知のように倉敷市真備町の多くの家屋が浸水しました。
自学道場でも被害こそなかったものの、三日三晩降り続けた豪雨のために隣の用水路の水があふれ、周りの道路が冠水するほどでした。
自学道場には、真備町からは冬期講習や春期講習に来てくれる生徒も多く、「被災した子どもたちのために出来ることは何か」という想いから、復興支援事業として「まびっ子えがおプロジェクト」と称し、まず第１弾として、被災した児童生徒の自学道場での受け入れを開始することを７月９日に決定しました。

あの日から１０日、自学道場へ

７月１７日、発災から１０日。自学道場での子どもたちの受け入れが本格的にスタートしました。この日は小学３年生から中学２年生までの子どもたちが来てくれました。有志の皆様のご協力のもと、昼食の手配もしていただくことができました。
子どもたちは初日の何とも言えない緊張感もありながらもご飯の時間になると「おいしい！」と言いながら、この日は魚のフライやシフォンケーキを頬張っていました。
久しぶりに会えた友達と、全力でトランプやオセロを楽しむ姿にスタッフ一同胸をなでおろしました。

念願の外遊び！３塾合同遠足

７月２０日、自学道場も加盟している「岡山次世代スクール協会」の３塾合同遠足。行先は岡山市にある「人と科学の未来館サイピア」。真備の子たちもバスと電車を乗り継ぎ、科学実験やプラネタリウムで学びを深めていきました。

夏期講習スタート

７月２３日、自学道場の夏期講習がスタートしました。夏期講習期間中は、真備の子も通常通っている塾生も、夏期講習だけを受けに来ている講習生もみんな一緒に授業参加です。

真備の子たちは、学校によってはまだ宿題が手渡されていません。特に自学道場に来ている自主避難家庭の子どもたちは受け取っている情報も少なく、夏休み中にどのように過ごせばよいか分かっていない子がほとんどです。

そんな中迎えた夏休み。少しでも楽しく、賢くなれる夏に出来るよう生徒と一緒に頑張ります！

ヘッドコーチ安永より

人生でも経験したことのないような長い豪雨。河川の氾濫や決壊が招いた爪痕は深く大きいものとなりました。我々は、７月８日より近隣の避難所への物資の輸送、必要な情報発信を行ってまいりました。この度、「まびっ子えがおプロジェクト」を実行するにあたり一番に困ったのが、避難者の現状把握でした。震災とは異なり、本当にちょっとした標高の違いでいたって普通の町と被災した町の違いが出てしまうことで、避難所から早々に出ていく避難者も少なくありませんでした。果たして自学道場の無料開放が役に立つのかどうか。これが当初の一番の不安でした。

今回、自学道場に来ている子どもたちも、早々に避難所を出て、真備町以外のエリアで生活再建を目指している子どもたちです。今後、真備町を出る選択を余儀なくされる家庭も徐々に増えていくことが予想されます。避難者の生活再建のエリアが広がれば広がるほど、行政だけでなく、我々民間でも被災者のニーズの把握が難しくなってくる恐れがあります。

現に真備町から出て、自学道場近隣のエリアに引っ越してきた子どもたちもいます。８月からはその子たちも受け入れていく方針です。

今はまだ物資が届き、ボランティアも集まります。しかし、これから５年、１０年先を見据えたときに、復興していくために必要なのが教育の力だと我々は考えます。

生まれ育った真備の町をどう復興していくのか、被災した子どもたちはもちろん、自学道場の生徒たちにもぜひ考えてほしい。そう思いながら、この夏期講習の学びにつなげていきたいと思います。

【当プロジェクトにご支援いただいている皆様】（順不同）

守屋久美さま
高田加奈子さま
うどん工房 遊庵さま
和風料理 町田さま
医療法人社団 東風会さま
（一社）岡山自立支援協会さま
LalaOkayamaさま
田中智子さま
小原陽子さま
自学道場塾生の保護者の皆様
他、多数の皆様

頂戴しました支援金につきましては、食材や、教材・文具を購入する費用、
および遠足の際にかかりました費用に充てさせていただきました。ありがとうございます。